

川崎市立川崎病院

令和6年度第1回地域医療支援病院運営委員会 会議録

1 開催日時 令和6年6月4日（火）13時30分～14時07分

2 開催場所 川崎病院7階講堂

3 出席者

(1) 委員

| | |
|-------------|----------------------|
| 古川 智洋（委員長） | 川崎区医師会会長 |
| 大塚 宏之（副委員長） | 川崎市医師会理事 |
| 今井 雅文 | 川崎区歯科医師会会長 |
| 小林 英之 | 幸区医師会会長 |
| 髭内 宏光 | 幸区歯科医師会会長 |
| 田中 充裕 | 川崎区薬剤師会会長 |
| 八木 美智子 | 川崎市看護協会常務理事 |
| 渡邊 崇大 | 川崎市健康福祉局保健医療政策部担当課長 |
| 若尾 勇 | 川崎区役所地域みまもり支援センター副所長 |
| 小川 晶 | 川崎市消防局川崎消防署長 |

(2) 川崎病院

| | |
|--------|--------------------|
| 野崎 博之 | 病院長 |
| 澤藤 誠 | 副院長兼患者総合サポートセンター所長 |
| 藤原 実香 | 看護部看護部長 |
| 田熊 清継 | 救命救急センター所長 |
| 鬼澤 勝弘 | 歯科口腔外科部長 |
| 小林 加寿夫 | 薬剤部長 |
| 池本 孝司 | 放射線診断科担当課長 |
| 瀬川 裕 | 事務局長 |
| 伊藤 猛 | 事務局庶務課長 |
| 高橋 智常 | 患者総合サポートセンター副所長 |
| 舘山 奈緒子 | 患者総合サポートセンター担当課長 |
| 藤平 高志 | 患者総合サポートセンター担当課長 |

4 資料

| | |
|-----|------------------------|
| 資料1 | 令和6年度の委員会の構成及び開催日程について |
| 資料2 | 紹介率・逆紹介率について |
| 資料3 | 緊急受診・転院依頼応需状況について |
| 資料4 | 医療機器共同利用予約受付件数について |
| 資料5 | P E T - C T 運用実績について |

- 資料 6-1 地域の医療従事者を対象とした研修について（医師）
- 資料 6-2 地域の医療従事者を対象とした研修について（看護師）
- 資料 7 連携登録医の登録状況等について
- 資料 8 市民公開講座について
- その他資料

前回運営委員会会議録

地域医療連携便り V o 1 . 4 2

5 議 事

- (1) 開 会（司会進行 高橋患者総合サポートセンター副所長 （6）まで）

司会挨拶

- ・会議公開の確認
- ・委員全員の同意により公開。傍聴希望者なし。

- (2) 委嘱状交付

本日から2年間の任期

委嘱状は机上交付

- (3) 病院長あいさつ

- ・診療報酬改定について
- ・川崎市立川崎病院地域医療支援病院運営委員会について

- (4) 委員自己紹介

出席委員より自己紹介

- (5) 病院側出席者紹介

司会より出席者を紹介

- (6) 委員長・副委員長選出

川崎市立川崎病院地域医療支援病院運営委員会設置要綱第5条第2項の規定により、委員長の選出については委員の互選により選出。意見等ないため事務局澤藤副院長より古川委員を提案。出席委員の拍手及び古川委員の承諾により委員長に就任。

副委員長は規定により委員長が指名をするということになっているため、古川委員長が今井委員を指名。今井委員の承諾により副委員長に就任。

古川委員長及び今井副委員長の挨拶。

- (7) 議事録署名人選出

川崎市審議会等の会議の公開に関する条例などに基づき、会議録の作成と、委員による当該会議録の確認が必要なため、委員会開催の都度、委員長が指名。

大塚委員を指名し、大塚委員の承諾により議事録署名人となる。

- (8) 議 題

議題 1 令和6年度の委員会の構成及び開催日程について

（藤平担当課長）

- ・12名の委員で構成されており、委員会は年4回を予定している。

議題2 紹介率・逆紹介率について

(澤藤副院長)

- ・令和5年度の紹介患者数 12,357人、月平均 1,030人、逆紹介患者数 18,143人、月平均 1,512人、初診患者の数 16,515人、月平均 1,376人。紹介率は 74.8%、逆紹介率は 109.8%となっている。令和4年度と比較すると、紹介患者数は増加、逆紹介患者数も増加、初診患者の数は感染症のこともあり、紹介のない患者も多かったので減少している。紹介率、逆紹介率は地域医療支援病院の要件は満たしている。

議題3 緊急受診・転院依頼応需状況について

(澤藤副院長)

- ・令和5年度は、1,816件の依頼に対して 1,243件を応需し、応需率は 68.4%となっている。夏や冬は体調を崩す傾向にあり依頼件数が増加し、応需率が下がる状況となっている。転院依頼については全件を受けている状況となっている。

議題4 医療機器共同利用予約受付件数について

(藤平担当課長)

- ・10の検査項目等に対し5年度は合計で723件の予約受付があった。5年間の平均件数は814.6件となっている。

(八木委員)

- ・PET-CTの予約件数は多いことがわかりますが、希望どおりに予約できるのか、込み合っていてお断りしているのか、まだキャパがあって皆さん使ってくださいなのか教えてください。

(池本担当課長)

- ・依頼に対してお待たせすることはほとんどなく、ご希望の日に入られる状況にある。予約枠の8割程度が埋まっている状況。

(古川委員長)

- ・令和5年度の合計723件と過去最低の数字となりますが、その分院内での利用が増えていけば問題はないと思うのですが、現状は良い塩梅なのか、民間の皆さんにもっと利用してほしいのか、状況はどうか。

(野崎院長)

- ・現状としては院内からCT、MRI等を他院に依頼しているケースがかなりある。本来であれば、院内を増やしたいところだが、どうやったらたくさん撮れるか、再編の中で増やせる工夫があればと思っている。

(古川委員長)

- ・現状の流れを続けていくということか。

(野崎院長)

- ・外からの依頼に関しては、現状のままで良い。

議題5 PET-CT運用実績について

(池本担当課長)

- ・令和5年度は995件となっており、令和4年度と同程度の件数となって

いる。

議題6 地域の医療従事者を対象とした研修について

(藤平担当課長)

- ・令和5年度の地域の医療従事者を対象とした研修を、対面形式やオンライン形式により4回実施したところ、受講者は全4回で合計79名の受講者があった。令和6年度は、1回目を5月21日に開催し、現在開催を予定しているのが6月21日の「第11回川崎泌尿器科病診連携会」と6月25日の「第2回川崎南部認知症ネットワーク勉強会」になっている。

(舘山担当課長)

- ・看護師の研修についてですが、令和5年度は地域の医療従事者を対象に看護部の認定看護師会の協力で大きなテーマをアンチエイジングとして4回開催。地域ケア懇談会を2回開催し、合計6回の開催となった。WEBでの参加と対面での参加と合わせて319名の参加があった。令和6年度は、認定看護師による研修を4回、地域ケア懇談会を2回予定している。研修内容は現在検討中だが、認定看護師による研修は大きなテーマを「看護技術の基本のき」として、各専門分野の認定看護師による研修を企画している。

議題7 連携登録医の登録状況等について

(藤平担当課長)

- ・令和6年5月1日現在で597の医療機関等に御登録をいただいている。医科は新規が12件、登録削除で閉院したクリニックが1件、歯科では新規の登録や登録の削除はなかった。

(古川委員長)

- ・連携登録医療機関というのは病院側から新規開院したところにアプローチするのか。

(藤平担当課長)

- ・そのような場合もあるとともに新規開院したところからご案内に来られた時に連携登録医の説明を行い、登録をいただいているところもある。

議題8 市民公開講座について

(藤平担当課長)

- ・昨年度は全6回市民公開講座を開催。今年度は6月26日に整形外科の瀬戸医師による「なかなか治らない肩の痛みについて～腱板断裂、変形性関節症を中心に～」というテーマで当院の講堂にて定員60名で開催する。次回8月以降もホームページ等を通じて周知していく。

その他

(藤平担当課長)

- ・前回の会議録と地域医療連携便りを配布している。
- ・次回の開催は令和6年8月27日火曜日、本日より13:30開催を予定している。

(古川委員長)

- ・ 予定の議題はすべて終了。
- ・ 野崎院長に4月からの医療改革における川崎病院における影響についてお話しいただきたい。

(野崎院長)

- ・ 働き方改革については、当直時間が約4時間減っていることになる。16時間の時間外が12時間になっている。全体としては、若干減ることになると考えている。

(古川委員長)

- ・ 一般市民からみるとそんなに変わらないということか。

(野崎院長)

- ・ パフォーマンス的には産婦人科を除き変わらない。今後、需要の伸びに合わせて考えていかなければならない

(司会を事務局へ返す。)

(9) 閉 会

(澤藤副院長)

- ・ 4月からの医師の働き方改革
- ・ 病診連携、病病連携が必要

以上